

---

# 仮面ライダーディケイドと遊ぼう! ~ キャラ崩壊しちゃおうぜ! ~

仮面ライダーが大好きすぎる人その名はsinne

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

仮面ライダーディケイドと遊ぼう！〜キャラ崩壊しちゃおうぜ！〜

### 【Nコード】

N3519Y

### 【作者名】

仮面ライダーが大好きすぎる人その名はsinne

### 【あらすじ】

土達の目の前に、少女が居た。  
その少女は鈴海良々と名乗った。  
なんだかギャグで進んでいく感じの小説。時々シリアスもあるらしい。

\*小説オリジナルキャラを作ってます。あとキャラ崩壊あります。

「話」唐突すぎる始まり」（前書き）

何新小説始めてるんだお前ですな。

ララ「やつほ〜！この小説では何故か漢字表記になって苗字変わった鈴音ララで〜す」

ルル「同じく・・・鈴音ルル・・・」

ララ「でも、此処に私達来て良いのかな？」

ルル「混乱するかも・・・？」

ララ「ううん、土君達って、何処に来るのかな〜？って」

ルル「あとがきじゃない？」

ララ「だね、ま、とにかく、始まり始まり〜」

ルル「あ、ちなみにこの小説は色々おかしいので、原作ファンの人  
は読むのを少し躊躇ったほうが良いです」

ララ「まあ、投稿者は電王以前の仮面ライダーは知らないからね・・・」

「話」唐突すぎる始まり」

此処に、士達が居る。

あと、知らない少女も。

良々「はじめまして！私の名前は鈴海良々！」

士「ああ、だからなんだ」

いきなり話し出した黒髪の少女に青年、門矢士は言う。

良々「てわけで、皆で何か色々話しましょう！」

ユウスケ「話が急すぎるし、初めて会う人達にそれはないだろ・・・」

続けて小野寺ユウスケが言う。

良々「ぶ〜、折角DCDの人も、オリジナルの人も呼んで、色々しましょーってしようとしたのに〜」

夏海「あの・・・いきなり意味が分からないんですが・・・」

遂に光夏海も訊いた。

良々「あ〜はいはい。えつと、今から、本編が真面目過ぎて色々ギヤグに走らなかつた（一部除く）のがちょっと悔しかったのと他にやっぱオリジナルとDCDの人を絡ませたいな〜とか投稿者の妄想した事がこれです!!」

夏海「せ・・・説明ありがとうございます・・・」

夏海はとりあえず礼を言う。

カズマ「そういう事で、俺が呼ばれたのか・・・」

其処には、剣立カズマが立っていた（剣立なだけに）。

ユウスケ「カズマ！」

ユウスケがカズマの元へ行く。

士「成る程な、全員呼ぶつて事が」

士が言った。

良々「つて言う事らしいよ。まあ、何もしないんじゃ楽しくないからさつて」

良々はそう言うと、何かを取り出して、投げた。

士「お前、何を投げた？」

士は良々に訊く。

良々「え〜と、なんか、投稿者に渡されて、投げつて。何が起るかよく分からないけど」

士「は？」ユウスケ「え？」夏海「ちょっと！」カズマ「な!？」

四人がそう言った瞬間。

良々の投げたものが光り、周りから化け物が現れた。

士「何やってんだお前!!!!!!」

良々「分からないよ!!!!!!だって、投稿者に渡されたし」

士「投稿者!!!!!!投稿者を出せ!!!!!!」

夏海「な、何が何だか分かりません!!!!!!」

ユウスケ「とりあえず戦うしかないだろ!」

?????「……その必要は無い……」

その瞬間。

何かが士達の前を横切り、化け物は倒れた。

?????「全く、投稿者も何やってんだか、良々に何かあったらどうするんだ……」

良々「縷々!」

士「誰だ?」

縷々「鈴海縷々。良々の双子の弟。で、あんたらが、投稿者の呼んだ奴等か」

士「ああ、そうらしいな。まあ、大体分かった」

夏海・ユウスケ・カズマ「「大体分からねえ（りません）！！！！」」

士に三人が突っ込む。

良々「でも、変だね？全員呼んだつもりだけど、カズマ君しか居ないみたいだね」

カズマ「それ初対面の年上に対して失礼だろ・・・」

ユウスケは思った、この流れじゃ、士も俺も、君付けだろうな・・・と。

良々「ま、此处で話しててもしょうがないし、喫茶店に行こうか」

夏海「喫茶店・・・ですか？」

縷々「うん・・・僕と・・・良々が・・・普段居る・・・場所・・・」

士「ま、とりあえず、行ってみるか」

カズマ（一話からこんなで・・・大丈夫なのか・・・？投稿者・・・）

「話「唐突すぎる始まり」(後書き)

士「俺達があとがき担当か」

夏海「まあ、良いじゃないですか」

ユウスケ「だな」

カズマ「何故、最初から俺が居るんだ？普通に考えたら、順番として、ワタル、若しくは別の入だろ」

ララ「それは投稿者がブレイド好きだからだよ」

ユウスケ「そうなのか？って何で良々ちゃんが此処に!？」

士「っていうか、ブレイドは投稿者見てないんじゃないのか？」

ララ「ん？まあ、ファンではあるって」

夏海(そんなんで良いのでしょうか・・・?)

カズマ「まあ、いいか。じゃ、次回も宜しくな」

ララ「まあ、全員大体性格分からないから、うる覚え若しくは想像だけだね」

士「俺は大体覚えてるらしいがな」

夏海「私もらしいです」

ララ「投稿者曰く、士君と夏海ちゃんは性格分かりやすいらしいよ」  
ユウスケ「俺とカズマは・・・」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3519y/>

---

仮面ライダーディケイドと遊ぼう!~キャラ崩壊しちゃおうぜ!~

2011年11月8日20時01分発行